

令和6年度水稲作柄判定試験結果（第2回）

令和6年7月18日

大分県農林水産研究指導センター

農業研究部 水田農業グループ

1. 水田農業グループ（宇佐市、平坦地）における生育概況

7月以降の高温・多照によって、遅れていた生育はおおむね平年並となり、分けつの発生は促進された。

「つや姫」の草丈は平年より高く、茎数はやや多かった。葉齢は平年並であり、葉色はやや濃かった。

「なつほのか」の草丈は平年より高く、茎数は少なかった。葉齢は平年よりやや遅れており、葉色はやや濃かった。

「ヒノヒカリ」の草丈は平年並であり、茎数はやや多かった。葉齢は平年並であり、葉色はやや濃かった。

7月16日時点の生育

品種	年次	草丈 (cm)	茎数 (/m ²)	葉齢	葉色 (SPAD 値)
つや姫	本年	58.1	331	9.2	45.4
	前年差・比	112	118	+0.2	+2.8
	平年差・比	109	105	+0.1	+1.6
なつほのか	本年	57.5	332	9.1	42.6
	前年差・比	107	123	+0.1	+1.1
	平年差・比	106	91	-0.2	+1.4
ヒノヒカリ	本年	47.3	367	9.1	44.9
	前年差・比	104	120	-0.1	+0.9
	平年差・比	101	105	±0.0	+1.4

差・比の値は、符号がついているものは差、ついていないものは比を示す。

2. 気象概況／7月2半旬～3半旬

観測値：水田農業グループ（宇佐市）、標高 30 m

1) 気温 【期間中の本年値：27.5℃ 平年値：26.0℃ 平年差：+1.5℃】

7月2半旬の平均気温、最高気温および最低気温は平年よりかなり高かったが、3半旬の平均気温、最高気温および最低気温は平年より低かった。

2) 降水量 【期間中の本年値：139 mm 平年値：110 mm 平年比 126】

7月2半旬には平年より少なかったが、3半旬には平年よりかなり多かった。

3) 日照時間 【期間中の本年値：45 h 平年値：51 h 平年比 88】

7月2半旬には平年より長かったが、3半旬には平年よりかなり短かった。

3. 栽培上の留意点

1) 水管理

茎数が 320~330 本/m² に達したら、中干しを開始する。目標茎数に達していない場合は、浅水管理によって分けつの発生を促進させる。

2) 病虫害防除

7月8日にトビイロウンカについて防除技術情報が発表された。苗箱施薬の残効がなくなれば増殖が懸念されるため、発生状況を注視するとともに、防除適期を逃さないように計画的な薬剤散布を実施する。

その他病虫害については、大分県農林水産研究指導センター 農業研究部 病虫害対策チーム (<https://www.pref.oita.jp/site/oita-boujoshou/>) が公表している発生予察情報を参考とする。

4. 試験方法

1) 供試品種

「つや姫」、「なつほのか」、「ヒノヒカリ」

2) 移植日

6月20日

3) 栽植密度

15.2 株/m² (条間 30 cm、株間 22 cm、1 株 4 本手植え)

4) 窒素施用量

「つや姫」基肥 - 追肥 = 4 - 2 kg/10a、

「ヒノヒカリ」「なつほのか」基肥 - 追肥 = 4 - 3 kg/10a

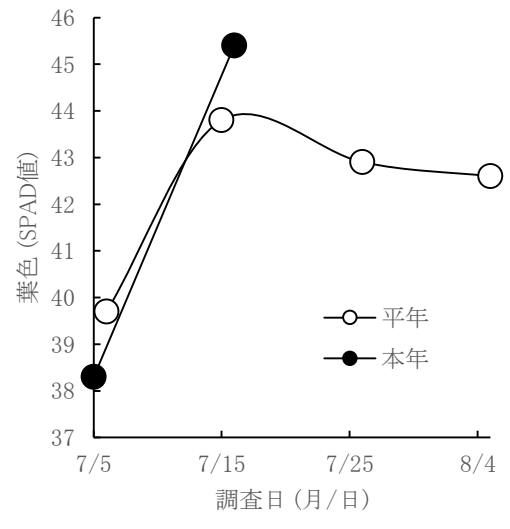
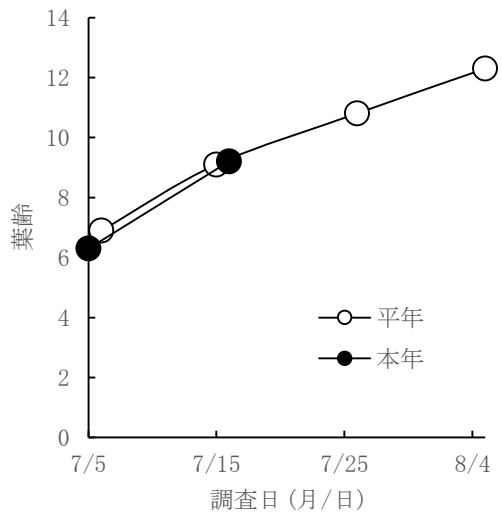
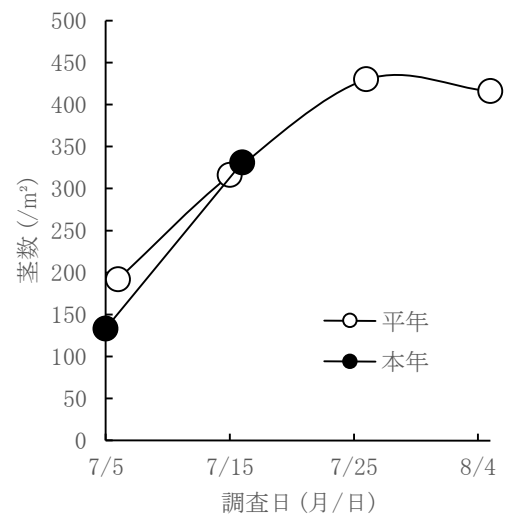
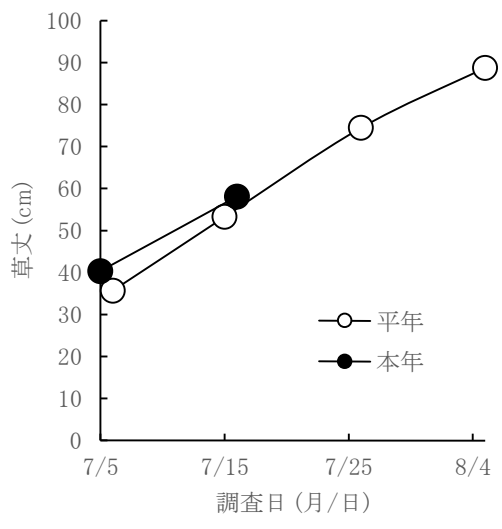
5) 平年値

「つや姫」「ヒノヒカリ」過去4カ年の平均値

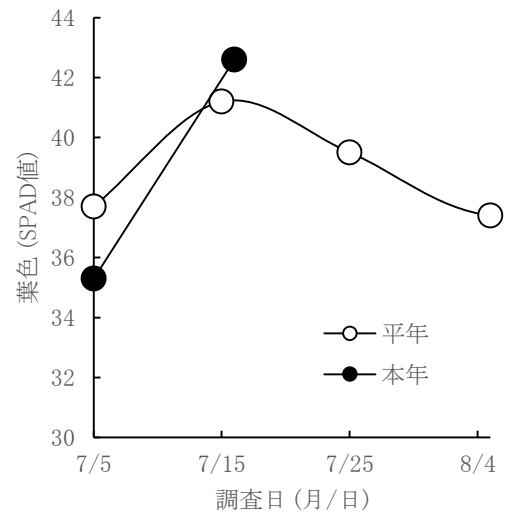
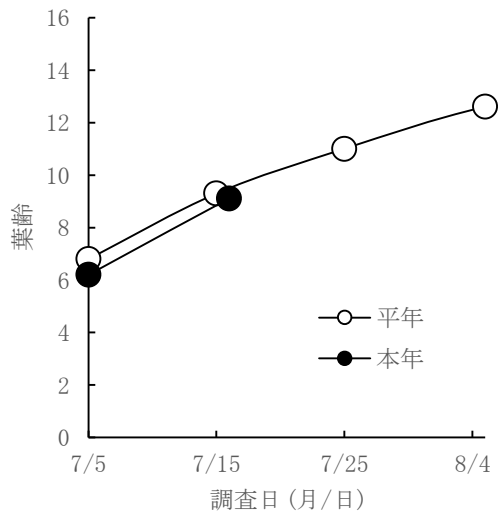
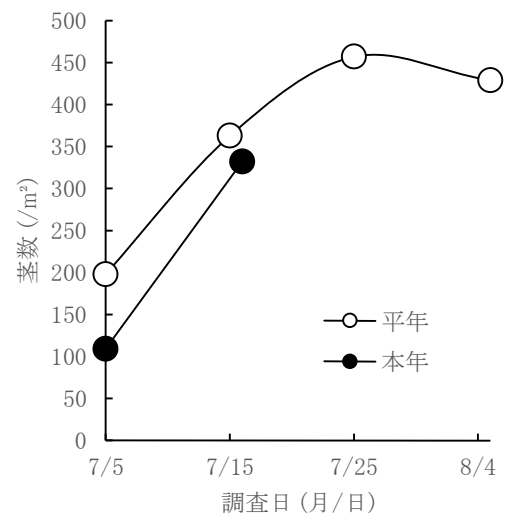
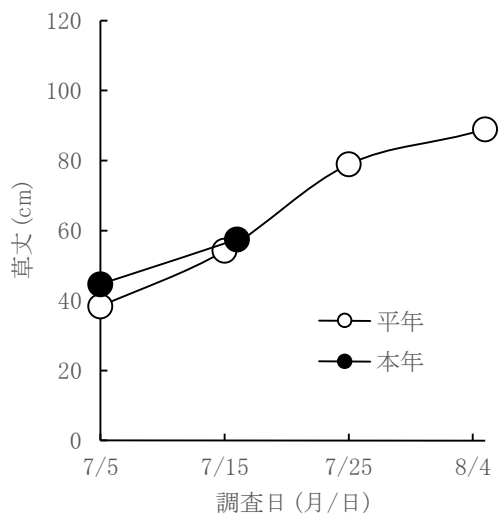
「なつほのか」過去3カ年の平均値

6) 調査基準日

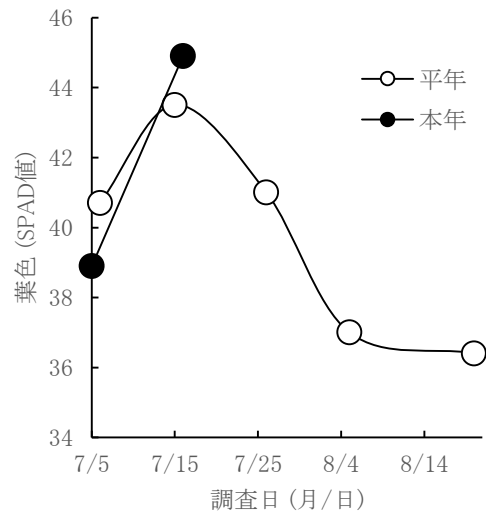
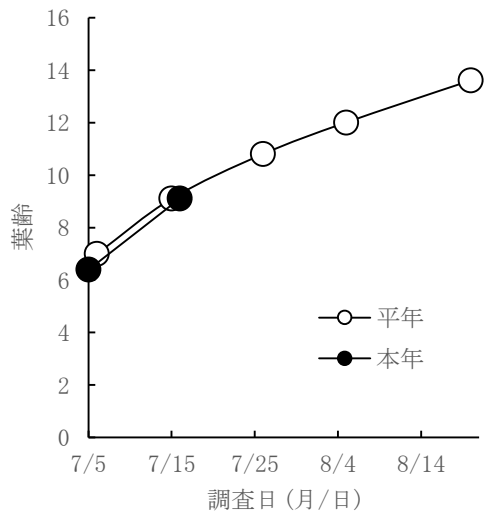
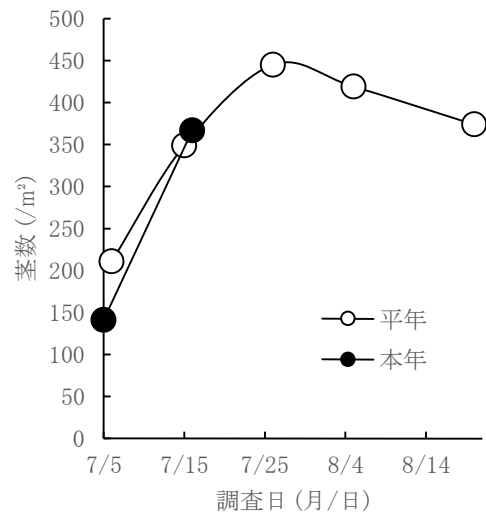
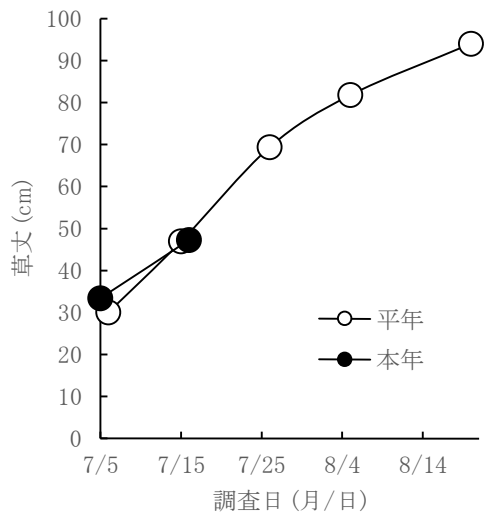
7月5日、7月15日、7月25日、8月5日、8月20日、成熟期



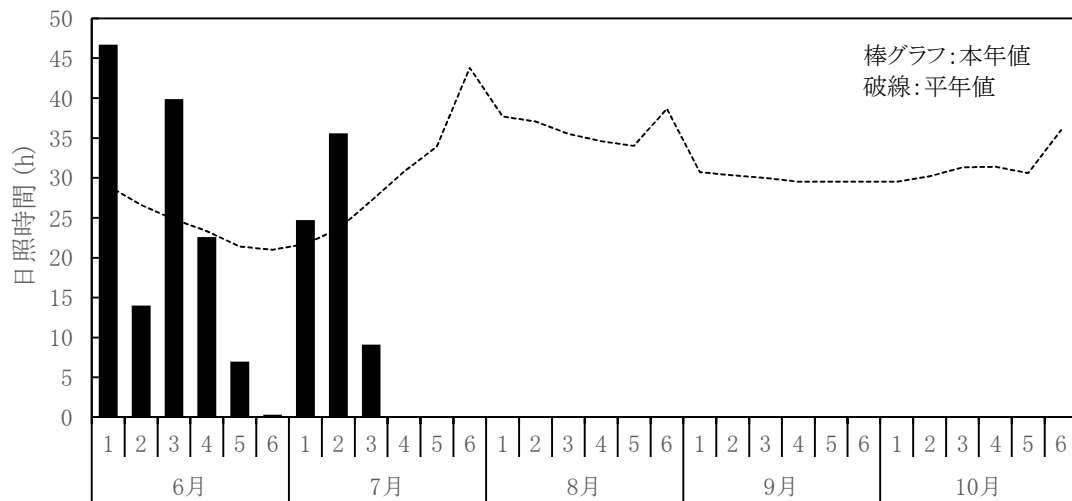
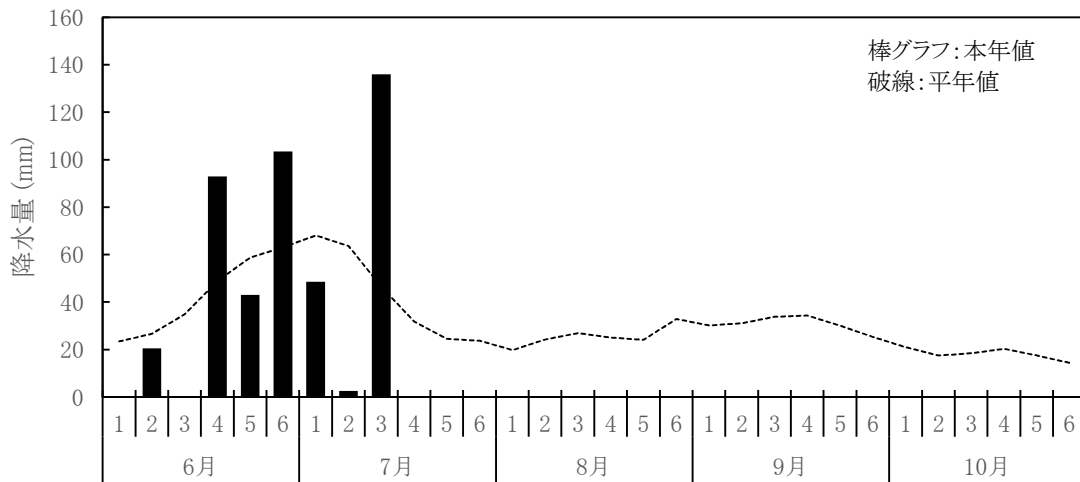
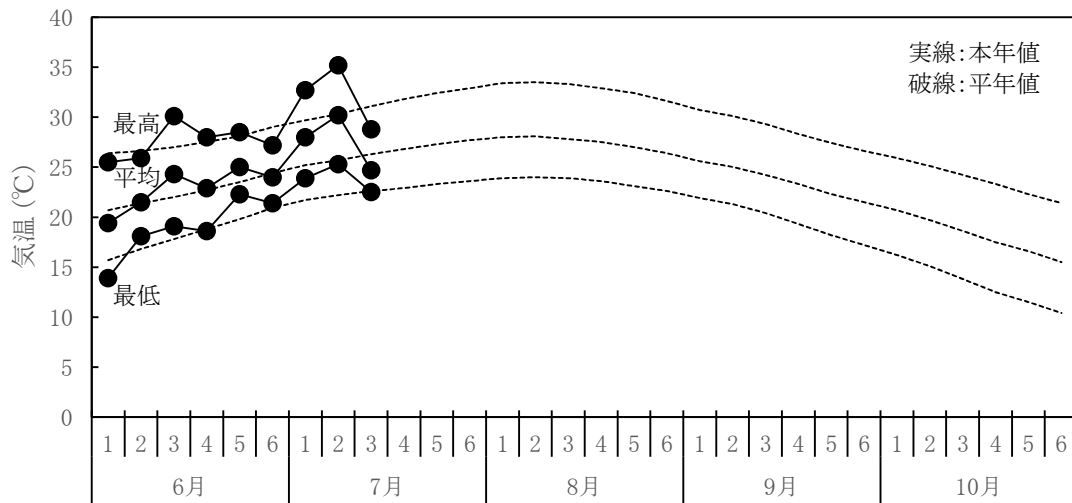
「つや姫」の生育推移



「なつほのか」の生育推移



「ヒノヒカリ」の生育推移



令和 6 年度夏作期間気象図 (宇佐市、標高 30 m)

*平年値は 1994~2023 年の 30 カ年の平均値を示す。